

問1

正答 B

解説 問1は、「解釈」の問題です。ポスターの作者の意図を読み取ることができるかどうかをみるものです。ただし、作者の意図はどこにも書かれていませんから、ポスターの内容から推論しなければなりません。一般論としては、A～Dの文は、いずれもポスターの目的になりうるものといえるでしょう。この設問に正答するためには、ポスターで最も目立つように書かれている項目、ここでは、最も大きく書かれている「言語力検定」という表題や人の輪の中に書かれた「言語力検定って」という部分に着目して、作者の意図を推論することが求められます。

問2

正答 A.①正しい B.②正しくない C.②正しくない D.②正しくない E.②正しくない

解説 問2は、「情報の取り出し」の問題です。ポスターに示された情報を正確に読み取ることができるかどうかをみるものです。正誤を判断するA～Eの文は、いずれも言語力検定について書かれています。この設問に正答するためには、輪になっている人たちの言葉を正確に読み取ることが必要です。言語力検定についての説明のうち、A～Eの文と関連するものを探し、その意味を読み取って正誤を判断することが求められます。

問3

正答 42日もしくは43日

解説 問3は、「解釈」の問題です。ポスターに示された複数の情報を関連付けて推論することが求められます。この設問に正答するためには、「申し込み締め切り」と「検定実施日」といった、必要となる2つの情報を取り出し、その差を計算することが求められます。この設問では、個々の情報を読み取って解釈するだけでなく、複数の情報を統合して解釈することが大切です。本問題は文章から何をすべきなのかが理解できるかを問う課題として、「何日間」の定義を厳密に知らなくても、概ね理解していれば正解としました。そのため、申込日と試験日の「間の日数」として42日間、試験当日を含んだ場合の43日間も正解としています。

問4

正答例1 正解が無限にあるといっても、「自分の意見を述べる検定」とあるので、まずは意見として成り立っているかどうかが問われます。しかも、「イラストやグラフを読む」ともあるので、事実に基づいた意見を述べるということが問われているので、この2つがないといけないと思います。

正答例2 正解が∞にあると書いてあっても、自分の意見として書いていないと世界に通じるコミュニケーションにはならないと思います。

誤答例1 いままででない検定なので、本や新聞などを読んでいままでないことを書くことを求められていると思います。

誤答例2 「世界に通じる力を養う」ので、世界のことをかかないといけないし、「対策は本や新聞をよむこと」なので、本や新聞の内容を書いていると正解にならないと思います。

解説 問4は、「熟考・評価」の問題です。ポスターに示された情報を正確に読み取ったうえで、その内容について考え、判断したり評価したりできるかどうかをみるものです。この設問に正答するためには、ポスターをよく読み、ひろし君の考えが間違っていることを裏づける根拠を見つけ、それに基づいて説明することが求められます。例えば、「イラストやグラフを読む」と書かれていることを根拠として挙げ、イラストやグラフから読み取った事柄に基づいて意見を言う必要があること等を指摘することが考えられます。

問5

正答 B、C、D

解説 問5は、「解釈」の問題です。ただし、ポスターの情報から自分で解釈するのではなく、まりさんという他者の解釈の根拠となる情報を探します。問3の「解釈」とは、ちょうど逆のプロセスになります。A～Eは、いずれもポスターに書かれているものです。この設問に正答するためには、それぞれの意味をしっかりと読み取り、まりさんの発言の根拠になりうるものをすべて選択することが求められます。ポスターの一部だけを読むのではなく、ポスター全体を何度も読み、まりさんの意図を正確にとらえることが大切です。